

カンボジア王国 投資環境



2013年12月2日

住友商事(株) 海外工業団地部

住友商事の展開する工業団地ネットワーク

アジア5カ国8拠点で事業展開中



開発・運営



開発・運営・販売

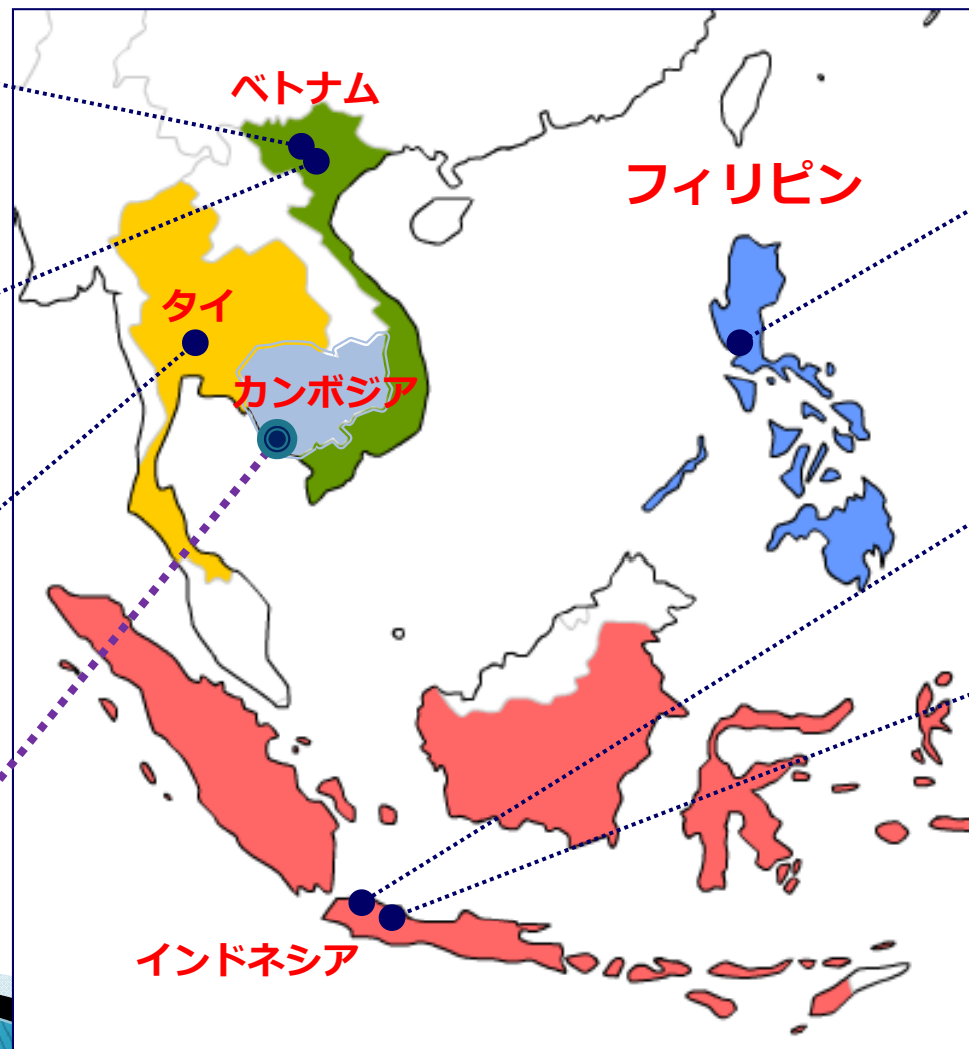


AMATA
Industrial Estate Developer

販売代理



販売代理



開発・運営・販売



EJIP

開発・運営



販売代理

カンボジア王国 投資概況



カンボジア王国 投資概要



国土面積	約181000平方km	日本の約半分
人口	1470万人	2013政府統計
気候	熱帯モンスーン気候	
	5-10月雨季	
宗教	仏教97%	
人種	クメール族(90%)	
公用語	クメール語	
首都	プノンペン	人口133万人
政治体制	立憲君主制	二院制
国家元首	ノロドム・シハモニ国王	
首相	フン・セン(1993～)	62歳
国内GDP	1420億ドル	2012推定値
一人当たりGDP	933ドル	同上
経済成長率	6%	2011
インフレ率	5.48%	2011
在留邦人数	1479人	2012年10月時点

カンボジアの歴史

9世紀	アンコール王朝成立
	9～13世紀に掛けてアンコール遺跡周辺を首都にインドシナ半島を支配
12世紀	アンコール・ワット建立
13世紀	アンコール・トム建立
1863年	フランスの統治下におかれる
1884年	フランス保護領カンボジア王国樹立
1941年	シハヌーク国王即位
1953年	フランスからの独立を果たす
1970年	クメールルージュ(ポルポト派)との内戦始まる
1975年	ポルポト政権発足
1991年	パリ和平協定 ポルポト派は闘争継続
1992年	国連カンボジア暫定統治機構活動開始
1993年	フンセン氏が共同首相に就任
1998年	ポルポト死去
1999年	ASEAN 加盟
2004年	WTO加盟
2012年	ASEAN議長国 オバマ大統領訪越

主要経済指標の近隣諸国との比較

		タイ	ベトナム	カンボジア	ラオス	ミャンマー
経済指標	名目GDP (億ドル)	3,457	1,227	129	83	514
	GDP/人 (ドル)	4,972	1,411	900	1,320	869
	輸出額 (億ドル)	1,953	722	56	18	89
	輸入額 (億ドル)	1,824	848	49	17	64
労働環境	人口 (百万人)	64	88	14	6	61
	労働人口 (百万人)	39	51	7(雇用者数)	6(総人口)	31
	平均賃金 (ドル/月)	286	111	82	118	68
インフラ環境	道路(密度) (km/km ²)	35(06年)	48(07年)	21(04年)	17(09年)	4(05年)
	経済特区・工業団地	60以上	260(稼働中174)	22(稼働中7)	5(稼働中4)	24(稼働中1)
	国際物流効率性 (155カ国中)	38位	53位	101位	109位	129位
ビジネス環境	日系企業集積 (現地法人数)	1,777	528	23	8	11
	事業効率性 (185カ国中)	18位	99位	133位	163位	-

(注1) 国際物流効率性、事業効率性はそれぞれ世界銀行の「Logistics Performance Index」、「Doing Business」による

(注2) 各データとも2011年。輸出入額のみ2010年

出典:住友商事総合研究所

カンボジアの投資環境 道路インフラ

物流インフラ

輸出はシアヌークビル港またはベトナムのホーチミン港利用が一般的

主要国道は舗装済み。

プノンペン⇒ホーチミン港 246KM トラックで約8時間
(メコン川を渡るネアンクル橋は2015年完成予定)

⇒シアヌークビル港 230KM トラックで約5時間



カンボジアの投資環境 港湾インフラ

① プンペン港

市内中心部に立地

取扱能力 年間10万TEU (2010年実績 6万TEU)

週2日120TEU級のバーク船がホーチミン港まで運航(36時間)

② プンペン新港

市内から東に30km 2012年開港

年間取扱能力 12~15万TEU

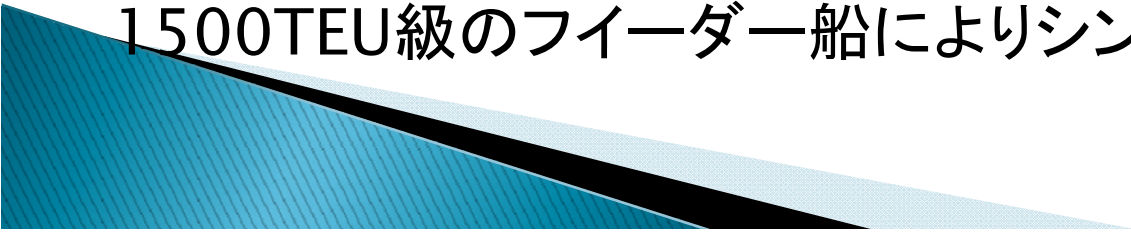
バーク船 320TEU級が入港可能

③ シアヌークビル港

市内から230km カンボジアで唯一の深海港

2010年取扱実績 22万TEU

1500TEU級のフーダー船によりシンガポールまで2, 3日



カンボジアの投資環境 港湾インフラ

運賃例

プノンペン経済特区⇒名古屋港

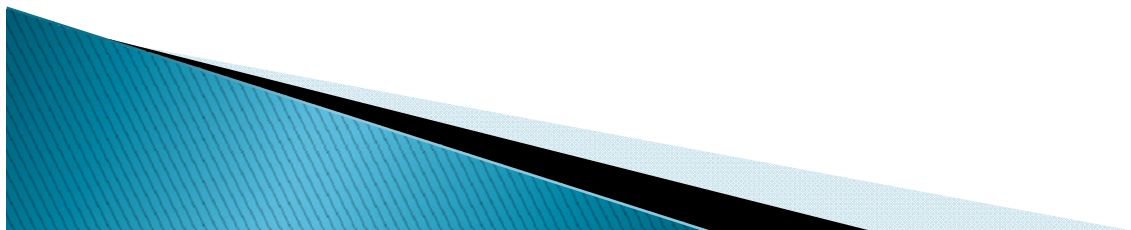
16～19日 1900ドル（ホーチミン出し）

15～18日 2100ドル（シアヌークビル出し）

プノンペン経済特区⇒米国東海岸

28～33日 4100ドル（ホーチミン出し）

28～31日 4000ドル（シアヌークビル出し）



カンボジアの投資環境 工業団地

2005年に経済特区 (Special Economic Zone/SEZ) 制度導入

日系製造業はカンボジア開発評議会 / CDC
(Council for the Development of Cambodia)が認可する経済
特区 (SEZ)に入居するのが通例 50年間賃借

経済特区は全国で22カ所が認可されてはいるが、実際に稼働しているのは8か所程度

(ベトナム国境 3か所 シアヌークビル 2か所 プノンペン1ヶ所 タイ国境2か所)

工業団地の質はマチマチ。駐在員生活インフラが唯一充実した首都プノンペン近郊はプノンペンSEZ1か所のみ

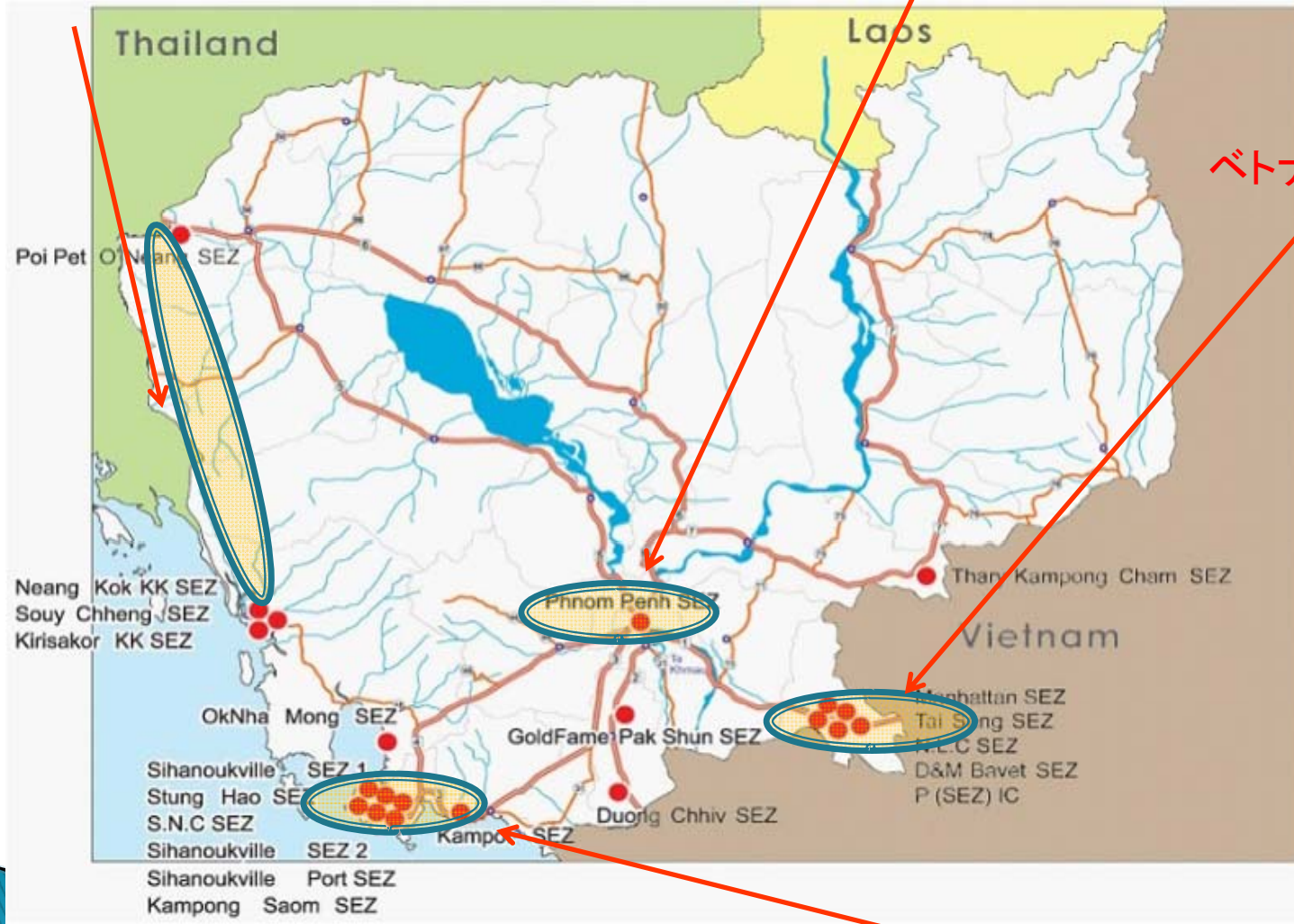


工業団地

実際に稼働している経済特区(Special Economic Zone/SEZ)は8ヶ所

タイ国境沿い 2か所

首都プノンペン近郊 1ヶ所



ベトナム国境沿い
3か所

シアヌークビル港周辺 2か所

カンボジアの投資環境 電力

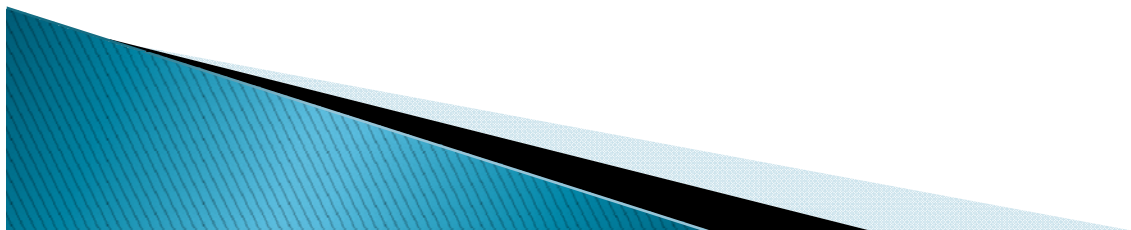
一般にカンボジアの電力事情は脆弱である。

隣国タイ、ベトナムからの買電で電力不足をしのいでいる。

電力不足克服の為2020年までに3576MW拡張を目指す。

電力料金はASEAN域内で最も高額。\$0.125~0.25 /kwh

電力料金は工業団地ごとに異なる



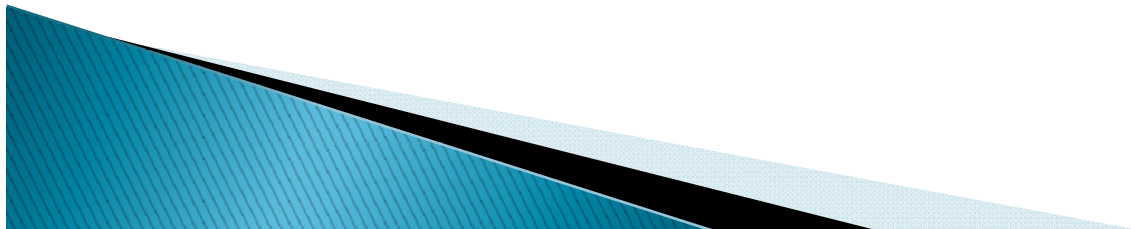
外資優遇制度

土地所有が認められない^(注)以外は外資企業のみに課せられる制約(外資規制)は存在しない。(注)50年賃借が一般的

投資適格プロジェクト(Qualified Investment Project/QIP)申請をカンボジア開発評議会(CDC)に行う。の

始動期間(注:最大3年)+3年間免除+業種により最大3年間の優遇期間=最長9年間の法人税免税(通常20%)(注)
最初に利益計上した年若しくは売上を計上した年から3年間

輸出加工型QIP:輸出関税、輸入関税^(注)、VATの免税
(注) 原材料、建設資材、生産設備の輸入関税免除



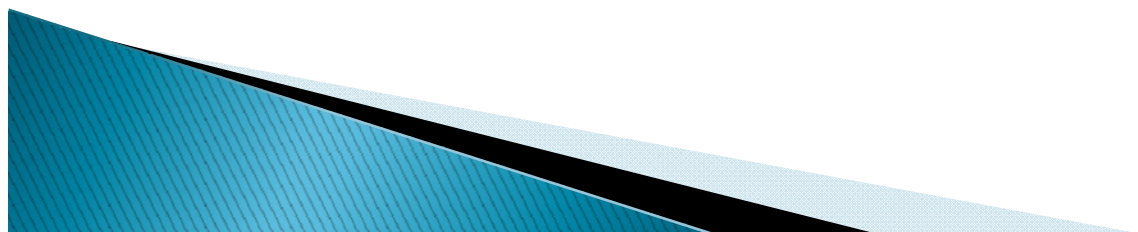
日系製造業のカンボジアへの進出

製造業≡縫製業/製靴業という元々の経済構造

2011年のミネベア進出がエポックメイキング。非繊維産業のカンボジアへの本格的初進出事例

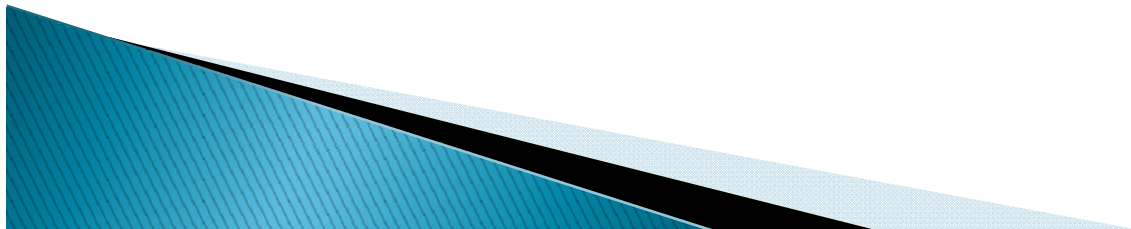
2012年以降、チャイナプラスワン、タイプラスワンの候補国として、豊富で低廉な労働力確保の場として日本の製造業が着目し始める。

（住友電装、日本電産、デンソー、矢崎操業等）



日系製造業のカンボジア投資の強み

- ☆低廉な人件費（最低賃金 \$80/月）
- ☆土地所有が認められない以外は、外資規制が一切無い自由度
- ☆事実上のドル経済圏で、為替リスクなし、海外送金規制なし
- ☆JETRO/JICA専門家による日系企業向けの手厚い進出サポート体制
- ☆快適な駐在員の生活環境（但し首都プノンペン周辺のみ）
- ☆タイ・ベトナムと陸路で国境を接しており、隣国との水平分業が容易
- ☆親日国家
- ☆メコン域内のハブ空港であるバンコクから空路1時間の至便な立地
- ☆長期安定的な政権運営



日系製造業のカンボジア投資の課題

☆貧弱な社会インフラ(電力、道路、港湾)

☆高い電力コスト (KWH当たり20セント前後)

☆優秀な中堅管理職の不足、オペレーター級の低い識字率

☆将来的な労働力確保の懸念(人口 1500万人)

☆首都プノンペン周辺以外は、日本人には厳しい生活環境

☆質・量ともに貧弱な工業団地事情

☆地域毎に人口密度が偏在しているので、進出検討時に要配慮



カンボジア工業団地事情



ベトナム国境 マンハッタンSEZ (2012年2月)



ネアンクル橋建設中、現状はしけ利用



ベトナム国境まで車で5分



日系入居企業 ビニールバッグ製造



デベロッパーは台湾系



プノンペン市内から車で3時間強。但し建設中のネア
ンクル橋が完成すれば、30分ほど短縮となる見込み。
タイセンSEZにほぼ隣接

ベトナム国境 タイセンSEZ (2012年2月)



団地内道路事情 視察当時は概ね未舗装



日系企業の新築工場 視察当時は従業員の最終訓練段階

工場敷地の一角に日本人は社宅を建設し、入居。
この会社の社長は、家族はホーチミン在で、週末
は国際バスで3時間かけてホーチミンに帰宅

シアヌークビル港周辺

シアヌークビルSEZ (2012年9月)



プノンペン市内から4時間
弱。プノンペン港SEZの手
前(20分程度) 日系企業
は2社入居中

日系企業

シアヌークビル港周辺

シアヌークビル港SEZ (2012年9月)



団地内風景



王子製紙様建築現場



背後は住宅地



従業員宿舎



シアヌークビル港

日本のODAで開発。
70haと小規模。港湾隣接
視察当時は王子製紙の
工場建設が着工した直後
で、他は全て更地状態

タイ国境

ポイペトSEZ (2012年8月)



タイ・カンボジア国境



カジノ乱立



国道から工業団地へのアクセス



正面ゲート



ゲートから団地内を望む

バンコク中心部から乗用車で3時間余り。視察当時は宝石箱製造企業が唯一操業中で、全体的に閑散。SEZ周辺に集落がほとんどなく、労働力確保にやや懸念？

プノンペン市内の風景



市内スーパー



写真の商品は全て日本食



高級乗馬・スポーツクラブ

高層ビルも
建ち始める



プノンペンSEZのご紹介



プノンペンSEZ 正面ゲート



プノンペンSEZ メインロード



プノンペンSEZ ドライポート



プノンペンSEZ マルニクス様



プノンペンSEZ 味の素様



プノンペンSEZ ミネベア様



プノンペンSEZの概要 ①

立地: プノンペン市内より18キロ 45分
プノンペン空港より8キロ 15分

開発面積: 360ha (外国企業には50年リース方式で分譲)

入居企業数: 64社 (日系37社)

付帯施設: 銀行/中華レストラン等 **日本食レストラン開業済み**
ドライポート 発電施設(13mw)
浄水施設(5300トン/日) 排水施設(4500トン/日)

日本人: 3名が現場に常駐 (上松氏・貞谷氏・吉田エンジニア)



プノンペンSEZの概要 ②

- ▶ 主な日系入居企業

- | | |
|-----------------|---------------|
| ▶ 味の素(食品) | ミネベア(小型モーター) |
| ▶ 住友電装(ハーネス) | マルニクス(ハーネス) |
| ▶ ルシアン(女性下着) | クリーンサークル(婦人靴) |
| ▶ タイガーウイング(婦人靴) | ヤマハ(オートバイ) |
| ▶ GSエレテック(ハーネス) | O&M(皮革製品) |
| ▶ コンビ(ベビー用品) 他 | |



プノンペンSEZの概要 ③

最近の進出企業傾向

☆カンボジアにとって新しい産業

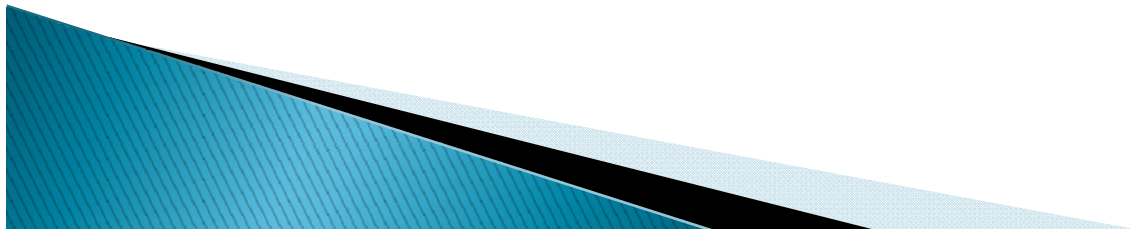
デンソー(自動車部品) タナカフォーサイト(メガネ部品)
マルサン・プラスチック(自動車部品、射出成型) タイカ
(シューズ衝撃吸収材) 明光堂(針、ピン) 日光金属
(ロストワックス)等

☆国内市場向け産業

ロート製薬(目薬) ベトナム系乳製品メーカー シンガポール系
清涼飲料水メーカー マレーシア系建築資材メーカー等

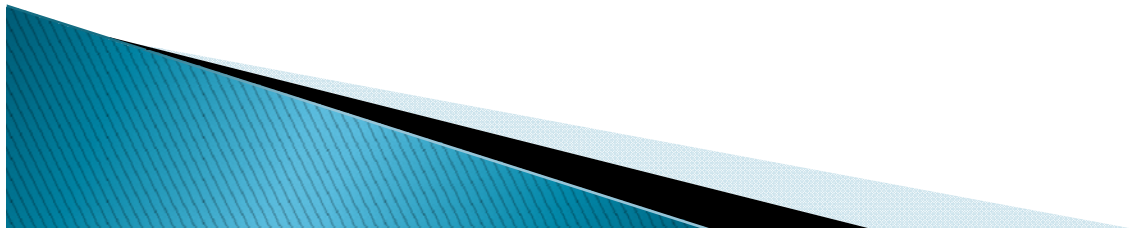
☆欧米系企業

ローレルトン・ダイヤモンド(ダイヤモンド加工、ティファニー子会社)
ストラトコ(スチール加工、オーストラリア系)等



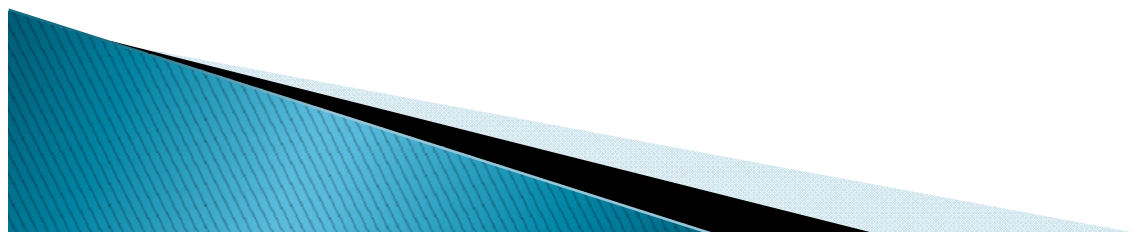
プノンペンSEZの概要④

- ▶ 事業主体: プノンペン経済特区社
(Phnom Penh SEZ Co., Ltd.)
- ▶ 会社設立: 2006年4月
- ▶ 資本金: 2700万USDドル
- ▶ 株主: 林 秋好(リム・チホー)女史 カンボジア華僑 78%
(株)ゼファー 東京都千代田区 22%
- ▶ CEO: 上松裕士氏
- ▶ 日本での問合せ: 住友商事(株) 海外工業団地部が販売代理



プノンペンSEZの魅力

- ▶ 唯一首都プノンペンから通勤可能(片道45分)な至便な立地
- ▶ カンボジア唯一の国際規格レベルの工業団地インフラ
- ▶ 日本人3名が常駐し、日系企業にきめ細かなサービスを提供
- ▶ 住友商事が国内販売窓口となり、日本で各種情報提供が可能
- ▶ 日系入居企業が37社とカンボジアで最大の集約規模
- ▶ 中華レストラン、日本食レストラン等の充実した付帯施設



ご清聴ありがとうございました。

- ▶ 日本でのお問合せ窓口
- ▶ 住友商事株式会社 海外工業団地部 第2チーム

飯島 03-5166-3587

jun.ijima@sumitomocorp.co.jp

大西 03-5166-6185

shinji.onishi@sumitomocorp.co.jp

高木 03-5166-3956

hiroshi.takagi@sumitomocorp.co.jp

住友商事海外工業団地部ホームページも併せご参照ください。

<http://www.sumitomocorp.co.jp/indpark/>

